

日本気管食道科学会より

『一側性声帯麻痺の治療法に関する全国疫学調査』 について

➤ 研究（調査）の目的と概略

一側性声帯麻痺の外科治療には、声帯内に自家組織や異物を注入する術式と声帯を内方へ押し込む術式の2種類がありますが、これらの術式が全患者数に対してどの程度の割合で施行されているかは不明であり、一側性声帯麻痺と診断された患者数とそれに対し実施された外科的治療の実数を調査します。

➤ 研究（調査）の方法

参加施設にアンケートを送付し、各施設における①1年間ののべ外来患者数(病院全体)、②1年間の新患患者数(病院全体)③反回神経麻痺(ICDコードG522)、喉頭麻痺、声帯麻痺等(ICDコードJ380)と診断された患者数、④反回神経麻痺、喉頭麻痺、声帯麻痺等に対する手術件数、⑤手術内訳を調査します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定専門医研修施設および日本食道学会食道外科専門医認定施設

➤ 調査期間

2016年1月1日～2018年12月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

上記調査期間中に一側性声帯麻痺と診断され、外科的を受けられた患者さんが対象ですが、患者さんの個人情報に関する調査結果を公表することは一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

ご自身が調査の対象になっている場合で、ご自身の診療記録などに関する情報を使用することに異議がある場合、以下のお問い合わせ先にご連絡をお願い致します。異議申し立てがない場合には、調査へのご同意を得られたものとして取り扱わせて頂きます。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：折館 伸彦（横浜市立大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp